「高齢者の財産管理に関わる認知機能を推測・把握するための面談チェックリストの信頼性・妥当性の検証研究」に対するご協力のお願い

研究責任者　岸本泰士郎
研究機関名　慶應義塾大学医学部
（所属）ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

「高齢者の財産管理に関わる認知機能を推測・把握するための面談チェックリストの信頼性・妥当性の検証研究」にご協力いただいた患者様で、同意していただいた際に「録画の同意書」という面談の様子の録画についてご許可いただいた方が対象となります。

２　研究課題名

承認番号　：　20211131

研究課題名：「高齢者の財産管理に関わる認知機能を推測・把握するための面談チェックリストの信頼性・妥当性の検証研究」

３　研究組織

研究機関	研究責任者
慶應義塾大学	特任教授　岸本 泰士郎

研究協力機関	機関の長
つつじメンタルホスピタル	理事長　田淵　肇

東京歯科大学市川総合病院　　病院長　西田 次郎
湘南慶育病院　　理事長　竹川節男

４　本研究の目的、方法

身体的な疾患を扱う多くの医学領域では、採血や画像検査を用いて、治療の効果を数値化して評価します。一方、精神的な疾患では患者さんのお話の内容や、他人が観察した患者さんの状態から判断したり、症状を評価するための簡便なテストの点数から判断したりするという方法がとられてきました。しかしこれらの評価方法は評価する人によって点数がぶれやすいこと、テストによる患者さんへの負担が大きいこと、同じテストを繰り返し行うことで答えを覚えてしまって評価しにくくなること、などの問題がありました。

本研究では、表情や身体の動き、声の調子や話の内容を解析できるコンピュータの先進技術を用いて、精神疾患の症状の程度を客観的に評価し、病状に伴う変化を機械学習（人間が行っている学習と似たような機能をコンピュータで行う技術）を使って数値化する医療機器の開発を目指しています。このような機器が開発されれば、患者さんの負担なく、客観的に症状の変化がとらえられるようになり、適切な治療方針の決定や早期診断につながったり、新しい治療を開発に役立ったりする可能性があると考えています。

５　協力をお願いする内容

本研究「高齢者の財産管理に関わる認知機能を推測・把握するための面談チェックリストの信頼性・妥当性の検証研究」で取得した患者様のデータを、当院で実施されている別の医学系研究「診察場面における表情・体動・音声の定量化や日常生活活動の定量化を通じたうつ病、躁うつ病及び認知症の客観的重症度評価技術開発－本試験－（承認番号:20160156）」に提供し、二次利用します。提供されたデータは、提供先の研究で新たに解析が行われ、認知機能の低下を予測する機械学習モデルを作成するために役立てられます。データの提供に際して、新たな検査や治療が追加されることはありませんし、ご負担いただく事項もありません。尚、本研究への協力を望まれない場合でも患者様、健常者様に不利益が生じることはありません。

６　本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

７　外部への試料・情報の提供

本研究で取り扱う患者様の動画データには、参加者の顔の映像の個人情報が含まれます。このため、動画データは個人情報として取り扱い、インターネットから切り離されたＰＣで、パスワードをかけ厳重に管理します。データを提供する上記の別研究（承認番号：20160156）では、主たる研究機関である慶應義塾大学のみがデータを使用するため、資料・情報をあらためて別の機関に提供することはありません。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、データ、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部
所属　　ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座
特任教授　岸本泰士郎
電話番号　03-5363-3219
e-mail：　tkishimoto@keio.jp

以上